

## 平成 30 年度研究プロジェクト計画概要

研究種別	■共同研究 11	公益目的事業 19
主査名	田淵隆俊 東京大学大学院経済学研究科教授	
研究テーマ	通勤鉄道混雑と都市集積の経済分析	
<p>本年度の共同研究プロジェクトは、平成 29 年度の共同研究プロジェクト「都市交通市場と航空市場、および都市経済の分析」を継承し、さらに深化・発展させることを目的とする。</p> <p>第一に、都市交通市場において、東京圏の鉄道通勤者の混雑の不効用および限界外部費用を定量化する手法を構築する。出勤時刻を変更することによって混雑時間帯での鉄道利用を避ける行動と有料列車を利用することによって混雑した普通列車の利用を避ける行動をモデル化することによって、混雑の不効用と限界外部費用を導出する。その際、混雑は多くの通勤者が朝夕の通勤時間帯に集中するため、内生性の問題が生じるので注意が必要である。また、社会的に望ましい料金体系の分析を行うことによって、政策評価を行う。</p> <p>第二に、都市集積のメカニズムを解明することによって、都市集積の経済が交通市場に与える影響や、高速道路や鉄道、航空における運賃政策が都市の経済発展に与える影響を分析する。そのため、都市内部の空間構造に着目して、都心における経済活動と郊外における居住を結ぶ通勤に焦点を当て、都市内の望ましい立地と資源配分に関する分析を行う。さらに、都市システムに発展させて、空間経済学につなげる研究を行う。</p> <p>本年度のプロジェクトでは、平成 29 年度まで行ってきた当プロジェクトの成果をどのように政策分析に応用できるか、また上記二つのテーマを有機的に結びつける研究を行う。</p> <p>交通経済学と空間経済学を中心にして、多様な専門分野の研究者が協同して研究を行うことによって、新たな知見を得ることを目的とする。具体的には、毎月研究会を行い、プロジェクト参加者間の多角的な議論を通じて、都市集積の経済を考慮した都市、地域、交通経済の分析を行い、都市交通政策に適用することを目指しつつ相互の理解を深めていく。研究会で得られた知見を踏まえて、プロジェクト参加者は、「通勤鉄道混雑と都市集積の経済分析」プロジェクトの成果を理論的、実証的に発展させる研究を行う。</p>		